

学校だより

熱 沙

＜発行＞  
令和5年2月1日  
発行責任者：校長  
和田 政男

### 3年ぶりの運動会、成功裏に終える

ドバイには珍しく数日間も雨が降り続いた後に、3年ぶりに開催された運動会。雨が降ったおかげで砂漠のようなグラウンドもしっとりとし、絶好のコンディションの中で開催された運動会は大成功と言える成果を残して終えることができました。

中学部の生徒のリーダーシップのもと、優勝を目指しながらも勝ち・負けにこだわるのが無く、誰もが爽やかな気持ちで終えることが出来ました。全ての児童・生徒が懸命に競技し演技する姿は、観客の感動を誘いました。縦割り活動の良さが存分に発揮され、全ての組が統率の取れた素晴らしい動きをしていました。係の児童・生徒の動きも素晴らしく、少しも間延びしたところのないスムーズな進行で、計画通りに運営出来ました。ローカルの先生方が子ども達と一緒に応援する姿はとても良かったです。今年はお付き合いのある学校にも招待状を送りました。本校の運動会を観たインター校の先生は、運動会後の砂のついた椅子の脚を拭くなどの後始末をする低学年の子ども達の姿を見てとても感動していました。ビデオを撮り「これをウチの子ども達に見せなければ！」と。

会場を後にする保護者の皆様からも嬉しい感想をたくさんいただきました。

良かったなあと思えることを列記するときりがありません。次年度以降、今年の実践を土台として、より良いものにしていくとする教育実践が続きます。DJSは今後も成長を続けていきます。

#### 学校評価アンケートの集計結果

11月に学校評価アンケートを実施いたしました。アンケートへのご協力、まことにありがとうございました。別紙にて集計結果をお知らせいたしますが、学校だよりでは、保護者の皆様からいただいた自由記述をまとめ、簡単なコメントを附してご紹介いたします。

同趣旨の内容は一つにまとめ、また個人が特定されないような表現に改めさせていただきました。

#### ＜読書、図書について＞

- ドバイで暮らしていると本を読む機会が減ったことが寂しいようです。
- 図書の時間以外にも休み時間などに自由に図書室を利用できたらいいのに、学級文庫の数が増えたらいいのに、とよく話しています。
- 図書室利用についてですが、こどもの話を聞いていると、蔵書はありそうだけど、読みたい本がどこにあるかわからない、本がバラバラに並んでいる、司書さんがいらっしやらないから読みたい本の相談などができないような印象を受けました。せつかくの蔵書を最大限生かし、こどもに本との出会いのきっかけをたくさん作れるように、図書室の利用しやすさについて改善できるのではないかなと感じました。司書さんご不在のようなので、親のボランティアで司書さんの役割を担い、図書室の整備やこどもと本の橋渡しをしてもいいのではないかと感じています。



↑ 運動会閉会式。良い一日となりました。

↓ 1/31のお掃除。縦割り活動が素晴らしい！



- 読書量は増えておらず、読書の楽しみを実感する機会に巡り会えていない事は家庭でも課題だと感じています。
- 図書室、読書室が狭隘で、古い蔵書をどんどん廃棄しながら、新しい図書を購入している状態です。図書の保管場所がありません。図書ボランティアの皆様にはコロナ対策が緩和された秋以降、図書の整備等で活躍していただいております。今後、図書ボランティアに限らず、ボランティアの皆様が活動しやすい学校になれば良いと期待しております。

(以下、次号に続く)